

概 要

東京芸術劇場×立教大学 連携講座「池袋学」夏季特別講座

「雑司が谷で「つながる」・「つなぐ」—ESD をキーワードとする地域づくりと人づくりへ—」

【日 時】 2016年8月1日（月）10時30分～17時30分

【会 場】 立教大学 池袋キャンパス 7号館

【主 催】 立教大学、東京芸術劇場、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」（研究代表者・阿部治）、立教大学ESD研究所、立教大学ESD地域創生研究センター設置準備室

【共 催】 豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、NPO 法人としまユネスコ協会、雑司が谷未来遺産推進協議会

【協 力】 NPO 法人ゼファー池袋まちづくり、NPO 法人としま NPO 推進協議会、NPO 法人「としまの記憶」をつなぐ会

◆企画の趣旨◆

池袋駅近くに位置し、伝統的な文化や自然が残る雑司が谷。近年、住民が主体となって地域資源を継承しながら、まちづくりを進めています。2014年には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」として『雑司が谷がやがや』プロジェクト～歴史と文化のまちづくり（雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会）が登録認証を受け、2016年には鬼子母神堂が国の重要文化財に指定されました。本企画では研究者、学生、地元住民等による雑司が谷に関する研究・学習・実践成果の発表、共有の場を設けます。従来個別に行われてきた活動をつなぐことで、雑司が谷を視座とする内発的・横断的な学びの促進、地域への誇りの醸成、域学連携の形成を図るとともに、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）による地域づくりと人づくりの可能性と未来について議論を深めます。なお、かつて「雑司が谷」は現在の西池袋や南池袋をも包摂する広い地域を指しており、「池袋学」すなわち「雑司が谷学」ともいえます。今回の企画が駅で東西に分かれた地域を“つなぐ”道筋を考える契機となれば幸いです。